

平成 30 年度岩手県中小企業災害復旧資金貸付要綱

第 1 目的

この制度は、県内の中小企業者（中小企業信用保険法（昭和 25 年法律第 264 号。以下「信用保険法」という。）第 2 条第 1 項に規定する者をいう。以下同じ。）が、災害により事業活動に支障を生じている場合に、災害の早期復旧を行うために必要な資金を円滑に供給し、もって経営の安定に資することを目的とする。

第 2 取扱金融機関

取扱金融機関は、別表に定めるとおりとする。

第 3 取扱期間

原則として、資金取扱開始の日から 3 か月間とする。

第 4 貸付対象者

災害救助法（昭和 22 年法律第 108 号）の適用を受けた市町村区域において、事務所又は事業所が罹災した中小企業者で、市町村長又は消防事務を行う一部事務組合の管理者が発行する罹災証明（以下「罹災証明書」という。）を受けた者とする。

なお、上記にかかわらず、知事が特に認めた場合であって罹災証明書を受けた者については、これを貸付対象者とすることができる。

第 5 貸付の条件

1 資金の用途

災害復旧に必要な設備資金及び災害の影響を受け、経営安定のために必要な運転資金とする。

2 貸付限度額

1 企業につき 1,000 万円以内とする。

3 貸付期間

10 年以内とする。ただし、3 年以内の据置期間をおくことができる。

4 貸付利率

貸付期間に応じ、次のとおりとする。

貸付期間 3 年以内 年 1.7% 以内

貸付期間 3 年超 10 年以内 年 1.9% 以内

ただし、信用保険法第 2 条第 5 項第 1 号から第 4 号及び第 6 号までに定める特定中小企業者として、市町村長の認定を受け、経営安定関連保証を適用する場合は、上に掲げる貸付利率から年 0.1% を減じた率とする。

5 担保・保証人

保証人は、原則として法人における代表者を除き不要とする。

担保は、不要とする。ただし、不動産取得資金の場合は、原則として貸付対象物件を担保に徴求する。

6 信用保証

岩手県信用保証協会の信用保証を付する。この場合の保証料率は次に定めるとおりとする。ただし、別に定めるところにより県が補給を行うものとする。

ア 直近決算における貸借対照表を作成している場合

(ア) 無担保の場合は、次の表に掲げるとおりとする。

CRD 評点 区 分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
保証料率	年 1.50%	年 1.35%	年 1.20%	年 1.10%	年 0.95%	年 0.80%	年 0.80%	年 0.60%	年 0.45%

(注) CRD 評点：一般社団法人 CRD 協会の信用リスク評価モデルによる評点をいう。

(イ) 有担保の場合は、(ア)に掲げる保証料率から年 0.1%を基準とした割引を行うものとする。
イ 直近決算における貸借対照表を作成していない場合

(ア) 無担保の場合は、年 0.95%とする。

(イ) 有担保の場合は、(ア)に掲げる保証料率から年 0.1%を基準とした割引を行うものとする。
ウ 信用保険法第 2 条第 5 項各号に定める特定中小企業者として、市町村長の認定を受け、経営安定関連保証を適用する場合は、第 5 号、第 7 号及び第 8 号にあつては年 0.6%、それ以外は 0.7%とする。

エ 信用保険法第 2 条第 6 項に定める特例中小企業者として、市町村長の認定を受け、危機関連保証を適用する場合は年 0.6%とする。

オ 会計参与を設置している旨の登記を行っていることを確認できる中小企業者の場合は、アからエに掲げる保証料率から年 0.1%を減じた率とする。

7 償還方法

取扱金融機関の所定の条件による。

8 その他

この要綱に定めのない貸付条件及び保証条件については、取扱金融機関及び岩手県信用保証協会の所定の条件による。

第 6 申込手続

貸付を受けようとする者は、罹災証明書及び中小企業災害復旧資金借入申込書（様式第 1 号）を添付のうえ取扱金融機関の所定の手続きにより申し込むものとする。

第 7 貸付の決定

取扱金融機関は、貸付の申込みを受けたときは、これを審査し、貸付の可否を決定し、その結果を申込者に通知するものとする。

第 8 貸付の実施

貸付の決定を受けた者は、取扱金融機関の所定の手続きにより貸付を受けるものとする。

第 9 保証料補給

県は、岩手県補助金交付規則（昭和 32 年岩手県規則第 71 号）及び中小企業災害復旧資金保証料補給補助金交付要綱（平成 27 年 3 月 23 日付け経支第 1116 号岩手県商工労働観光部長通知）の定めるところにより、この要綱に基づいた融資について保証をした岩手県信用保証協会に対し保証料補給を行うものとする。

第 10 報告及び書類の保管

1 取扱金融機関は、県単融資制度実績報告取扱要領に定めるところにより知事に融資実績を報告するものとする。

2 貸付けを受けた中小企業者は、その資金使途及び支払等の年月日が分かる関係書類について、貸付けの日から 5 年間保管するものとする。

第 11 要綱に違反した者等に対する措置

知事は、貸付の決定を受けた者が、この要綱に違反し、又は知事の指示に従わなかった場合は貸付決定を取り消すことがある。

別表 取扱金融機関

県内に所在する次の金融機関とする。

金融機関
普通銀行、信用金庫、株式会社商工組合中央金庫、ウリ信用組合及び岩手県医師信用組合

取扱金融機関

様

所在地

名称及び代表者氏名

印

電話番号

岩手県中小企業災害復旧資金借入申込書

次のとおり、資金の貸付を受けたいので、岩手県中小企業災害復旧資金貸付要綱の規定に基づき申し込みます。

記

1 事業概要

主たる事業内容	従業員数	人
---------	------	---

2 被害の状況

区分	名称	数量	具体的な被害の状況	被害時の価格	損失額	取得価格
土地・建物・ 機械設備・棚卸資 産				(m ²) 円	円	円
土地・建物・ 機械設備・棚卸資 産				(m ²) 円	円	円
土地・建物・ 機械設備・棚卸資 産				(m ²) 円	円	円
土地・建物・ 機械設備・棚卸資 産				(m ²) 円	円	円
土地・建物・ 機械設備・棚卸資 産				(m ²) 円	円	円
合計				(m ²) 円	円	円

3 融資の申込内容

申込予定金額	年 月 日
--------	-------

4 罹災による営業への影響の状況(営業を休止した期間があれば記載のこと)

--

5 売上減少の状況(罹災月から3か月(見込み)と前年同期間を比較すること)

	最近3か月(年 月~ 月)の 平均売上高 (A)	前年同期(年 月~ 月)の 平均売上高 (B)	(1 - A/B) × 100
計			%

6 資金使途内訳別紙

(1) 設備資金

名称	具体的資金使途及び積算内訳	金額	利用(支払)予定年月日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
合計		円	

(2) 運転資金

名称	具体的資金使途及び積算内訳	金額	利用(支払)予定年月日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
		円	年 月 日
合計		円	

※ 資金使途及び支払等の年月日の分かる関係書類について、貸付けの日から5年間保管すること。

7 添付書類

市町村長又は消防事務を行う一部事務組合の管理者が発行した、罹災証明書の写し

(注意事項)

記載内容について不明な点がある場合には被害状況の把握のため、県の担当課より実地調査や聞き取り調査等を受ける場合があります。

平成 30 年度岩手県中小企業災害復旧資金取扱要領

この要領は、平成 30 年度岩手県中小企業災害復旧資金貸付要綱（以下「要綱」という。）の取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

貸付対象者の要件

要綱第 4 に規定する知事が特に認める中小企業者は、次の者とする。

- 1 災害救助法が適用された市町村区域以外において、適用区域と同様に相当程度の被害を受けた者
- 2 激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和 37 年法律第 150 号）第 2 条で定める激甚災害の指定について、激甚災害指定基準（昭和 37 年中央防災会議決定）の規定が適用された災害又は同指定が見込まれる災害により相当程度の被害を受けた者